

巻 頭 言

病院長 河原林 正敏



皆様のお手元に2022年度の耳原総合病院活動報告書をお届けできることをたいへん嬉しく思います。2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症対応も4年目となり、2023年5月からは新型コロナは季節性インフルエンザ並みである5類感染症の扱いとなりました。しかしながらゼロコロナとなることはなく、完全にコロナ前に戻ることはないことを前提に、これからも感染症対策と通常診療を両立させていかなければならないと考えております。

2022年度の病院活動を振り返ってみます。コロナ対応と通常医療の両立に奔走してきた中で、昨年度の救急搬送数は過去最多となる7,669件に達しました。大阪府全域での救急搬送数が前年度より大きく増加したことが背景にあります。中でも消化器疾患、循環器疾患の救急搬送数が多く、これらの分野で地域からの期待が高まっていると感じています。また、周産期医療の分野でも当院の役割が期待されており、コロナ禍にありながら分娩件数は年々増加傾向にあります。

全病院的取り組みとしましては、2023年10月の病院機能評価受審に向けたプロジェクトを立ち上げ、各部門での推進体制を確立すべくキックオフを行いました。診療の質向上に向けて、患者満足度調査および職員満足度調査の実施、診療記録の質向上キャンペーン、禁煙啓発企画(禁煙大喜利、禁煙公募展)など、さまざまな取り組みを行いました。禁煙公募展では、南海電鉄の堺市内主要駅に作品展示もしましたので皆様のお目に触れたかもしれません。また、2024年度から実施される「医師の働き方改革」に対応するプロジェクトを立ち上げ、医師労働の適正化に向けた取り組みにも着手しました。

臨床研修指定病院として医師をはじめ医療の専門職を育てる役割もまたきわめて重要です。国の施策として医師が都市部に集中することを防ぐため初期研修医や専攻医の受け入れ定数にシーリング(上限設定)が設けられています。大都市を抱える大阪府は医師が過剰な地域と想定されており、受け入れ定数を削減されるプレッシャーに抗いながらも、当院では今年度も初期研修医7名を受け入れて10年連続フルマッチを達成しました。さらには次年度の募集定数を8名に増やすことができました。当院は引き続き研修医、専攻医の継続的な受け入れと養成に尽力していきます。

コロナ禍による経済の停滞と、その後に続く物価上昇、水道光熱費の高騰は、個人世帯にも医療機関にも重くのしかかっています。2022年10月からは一定の収入のある後期高齢者の医療費窓口負担が1割から2割に引き上げられました。患者さんを取り巻く経済的困窮はきわめて深刻な状況となっていることは、当院が力を入れている無料低額診療制度の適用状況にも現れています。2022年度の無料低額診療制度の新規適用件数は、312件となりました。これはコロナ禍前の2019年度の件数の7割増となります。病院理念である「無差別平等の医療」実践のため、「アウトリーチ」の取り組みも積極的に継続していきます。

今後、ウイズコロナを見据えながらも、当院が地域での役割を果たしていくために、さらなる医療機能の整備を進めると同時に、利用しやすい病院環境づくりにも腰を据えて取り組んでいきたいと考えております。

引き続き地域の皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

目 次

巻頭言.....病院長 河原林 正敏

沿革と年譜	1
病院の現況(病院の概要・指定医療機関・実施医療機関・救急医療・学会認定・施設基準等) ..	4
理念、綱領、基本方針	8
組 織 図	11
職員配置表(職種別人数)	12
職員用デジタルサイネージでふりかえる2022年度	13

医療活動報告

外 来 統 計	16
入 院 統 計	17
退院患者統計	20
救急搬送データ	22
救急外来(ER)統計.....	23
Q I デ ー タ	24
外来患者満足度調査	26

部門別活動状況

手術室(科別手術数)	28
手術室(各科術式別手術数)	29
内視鏡検査室	36
薬 剤 科	37
臨床検査科・病理診断科	38
放 射 線 科	39
循環器内科	40
臨 床 工 学 科	41
リハビリテーション科	43
栄 養 管 理 科	44
サポートセンター(患者相談室)(医療福祉相談室)	45
サポートセンター(がん相談支援センター)	46
サポートセンター(入退院支援室)	47
サポートセンター(地域連携室)	47
医師事務支援課	52
組 織 健 診 科	52
感 染 制 御 室	54

各科活動報告

集 中 治 療 科	68
総合診療センター	68
循環器センター(循環器内科)	69
循環器センター(心臓血管外科)	70
消化器センター	71
乳 腺 外 科	72
腎・透析センター(腎臓内科・透析)	73
代謝・膠原病内科	73
呼 吸 器 外 科	74
小 児 科	75

周産期ファミリーセンターおよび産婦人科	76
泌尿器科	77
整形外科	78
脳神経外科	78
リハビリテーション科	79
緩和ケア科	79
精神科	82
麻酔科	83
病理診断科	83
放射線科	84
組織健診科	84
歯科口腔外科	85

————— 各委員会活動 —————

医療安全対策委員会	86
倫理委員会	87
安全衛生委員会	88
災害対策運営会議	89
情報管理運営会議	89
コーディング委員会	90
診療情報委員会	91
クリティカルパス運営会議	92
外来診療委員会	93
呼吸ケア運営会議	93
輸血療法委員会	94
院内薬事委員会	95
治験審査委員会	95
がん診療推進運営会議	95
レジメン委員会	96
NST・給食運営会議	97
高齢者医療対策推進運営会議	98
身体拘束ゼロ運営会議	99
褥瘡対策運営会議	100
院内虐待防止運営会議	100
HPH運営会議	102
アート運営会議	102
学術運営会議	103
教育学習運営会議	104
医療材料委員会	105
ICLS運営会議	105

————— 教育・研修活動 —————

「オープン学習会」一覧	106
「職種横断学習」一覧	107
実習及び見学受入状況	111
研究実績	112

発行にあたって

沿 革 と 年 譜

- 1953年11月 耳原病院開設(病床数54床…内、児、外、婦、X線)
- 1955年 7月 第一病棟増設(病床数117床)
- 1956年 3月 皮膚科、泌尿器科新設
- 1957年 4月 眼科新設
- 9月 第二病棟増設(病床数211床)
- 11月 耳鼻咽喉科新設
- 1958年11月 医療法人同仁会(財団)設立
- 1959年 2月 整形外科新設
- 1960年 5月 鳳診療所開設(内、児、外)
- 9月 麻酔科新設
- 1962年11月 鳳診療所を病院化、鳳分院開設(病床数38床…内、児、外、X線)
- 1963年 9月 原爆一般疾病指定
- 1965年 2月 総合病院として認可
- 1971年 7月 精神神経科新設
- 1974年 3月 日常医療点検総括会議
- 7月 耳原総合病院竣工(地下1階地上6階、病床数193床)
- 12月 手術棟改造(病床数213床)
- 1975年 3月 泉州高等看護学院開校
- 12月 管理棟完成
- 1976年 8月 旧第二病棟改造(病床数245床)
- 9月 同仁会職員互助会発足／同仁会第2次5カ年計画発表
- 10月 脳神経外科新設
- 12月 神経内科新設
- 1977年 5月 コンピューター導入
- 1978年 6月 CT、シネアンギオ棟完成、同2階に10床増設(ベッド255床となる)
- 1979年 1月 看護婦宿舎「みみはら寮」完成
- 4月 同仁会会館建設
- 5月 老松診療所(人工透析25台)開設
- 8月 救急病棟(18床)開設(第一病棟除去、未熟児4含め224床となる)
- 1980年 5月 別館(地下1階、地上3階、86床)完成、合計280床となる
- 8月 耳原旭ヶ丘会館完成(労働組合、夜間保育所が同館に移転)
- 9月 耳原旭ヶ丘鍼灸所開設／創立30周年記念行事
- 1981年 9月 耳原歯科診療所開設
- 11月 耳原鳳病院新築移転(85床)老松診療所増改築(40台)
- RI検査室開始
- 12月 別館2階にSCU開設
- 1982年11月 内科専門分化実施
- 12月 入院助産制度認可
- 1983年 5月 重症者看護病棟23床
- 6月 眼科外来オープン
- 1984年11月 「耳原友の会」設立総会
- 1985年 7月 創立35周年記念事業実行委員会設置
- 9月 在宅酸素療法加算承認／4階に「集中観察室」開設
- 1988年 4月 新館建設第一期工事竣工(新館5階、新救急病棟)
- 1989年 1月 特3類看護認可
- 2月 胸部心臓血管外科開設
- 7月 適温適時給食実施
- 1990年 4月 新館3階病棟オープン
- 7月 別館3階病棟オープン
- 1992年 1月 外来オーダーリングシステム開始
- 1993年 4月 第2土曜休診開始
- 5月 第1回健康まつり開催
- 1994年 4月 第2・第4土曜休診開始／在宅医療部発足
- 1995年 1月 阪神大震災支援運動に取り組む

2月	ショックウエーブ導入
4月	骨密度測定装置導入
5月	訪問看護ステーションみなと開設
9月	新看護体系(2:1A加算)
1996年2月	耳原鳳こども診療所開設
1997年10月	耳原高石診療所開設
1998年4月	厚生省臨床研修指定病院認可/第2・4土曜日診療再開
12月	老人保健施設みみはら開設
1999年4月	特定医療法人取得
5月	地域医療室開設/整形外科開設/内科総合病棟開設
10月	病棟再編(10病棟→9病棟)
2000年4月	救急告示開始(内・小・外)/居宅介護支援事業所開所
11月	みみはら高砂クリニック開設
2001年4月	リハビリ拡張基準Ⅱ取得
5月	感染対策緊急集会
7月	第1回医療安全大会(法人)
2002年2月	皮膚科外部化/専任リスクマネージャー配置
4月	日本医療機能評価受審/外科・心外・整形外来統合診療オープン/放射線科・麻酔医 科専門医着任
5月	放射線科総合受付開設/紹介外来特別加算取得/外来改装
7月	急性期特定病院加算取得
10月	新2階病棟開設/MRI導入
12月	緩和ケア病棟新設/第1回緩和ケアシンポジウム(地域公開学習会)
2003年5月	鳳病院に6床移設
7月	薬剤師全日24時間体制実施/電子カルテオーダーリングシステム稼働
8月	別館2階病棟「特殊疾患入院施設管理加算」承認/外来化学療法センター開設/入院時 医学管理加算承認
11月	日本医療機能評価一般B認定
2004年3月	SPDシステム導入
7月	日帰り手術センター開設
11月	「当院の姿勢と患者様に望むこと(患者様の権利章典)」の実施
12月	第1回「地域医療連携をすすめる会」
2006年9月	みみはらファミリークリニック開設(耳原南花田診療所移転)
2008年2月	小児科単独病棟開設
10月	集中治療室開設
2009年6月	無料低額診療事業開始
2010年8月	新病院建設ニュース 月刊「心ひとつに」創刊
2011年1月	社会医療法人取得
2011年3月	東北大震災支援運動に取り組む
2012年11月	地域医療支援病院許可
2013年1月	立体駐車場整備完成
4月	サポートセンター開設
2014年11月	新病院Ⅰ期工事完成
8月	「同仁会報」「とも」(健康友の会みみはら)「心ひとつに」3紙合併発行開始
2015年3月	新病院竣工式・記念レセプション・内覧会/旧病院解体工事着工
4月	新病院開院
6月	320列CT導入
9月	歯科口腔外科、救急科 標榜
9月	循環器センター、腎・透析センター、消化器センター開設
10月	「患者さん」呼称変更
2016年4月	熊本震災支援派遣(4/19～6/7までのべ16人)
5月	Ⅱ期工事完成
	がん相談支援センター開設
6月	総合診療センター/がん支援センター/がん相談支援センター開設
9月	消化器センター開設
11月	QMS(Quality Management System)活動開始
2017年3月	大阪府がん診療拠点病院指定

4月	チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(CWHC)開設
9月	一般社団法人 日本専門医機構「総合診療専門研修プログラムにおける一次審査」認可
10月	医師臨床研修マッチング制度、5年連続規定枠フルマッチ
2018年 2月	浅大腿動脈ステントグラフト実施基準による血管内治療の実施認定施設
3月	小児科当直、再開 リハビリ科、急性期病棟での365日リハ
5月	一般社団法人 National Clinical Database 登録 卒後臨床研修評価機構(JCEP)第三者評価 認定更新
7月	外来初診時選定療養費徴収体制の開始
8月	国土交通省 レジリエンス認証 専門外来「胆石症」外来 開設
12月	「バイオ・ジェット」®(先進医療)検査の許可取得
2019年 1月	日本医療機能評価機構 3edG:Ver2.0一般病院2 認定
4月	院内でTB・MAC遺伝子検査開始
5月	認定病院患者安全推進機構 患者安全推進フォーラム 当院で開催
9月	6階病棟 新生児室移設工事・9階病棟 内診室設置工事、婦人科救急受入れ開始 ER病棟をハイケアユニットに転換
10月	病棟入替え(8階⇔11階)
11月	堺市特殊詐欺被害防止協力事業者に認定
12月	11階病棟内にハイケアユニット1室(4床)を立上げ 毎月勤労統計調査への協力姿勢について厚生労働省より表彰
2020年 2月	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)BCPを立上げ 「帰国者・接触者外来」の設置
3月	立体駐車場増設
4月	地域医療支援病院(300床以上)の初診・再診選定療養費徴収の義務化
6月	PCR検査機を配備 病室陰圧化の増設(2室), 陰圧前室装置の配備(3台)
7月	6階病棟にNICU(2床)立ち上げ 大阪府より新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ要請(3床) レジリエンス認証更新
8月	小児科時間外受診開始
10月	病院長・病院幹部 交代 医療機能評価中間審査 NICU(3床)運用開始
2021年 2月	新型コロナウイルス感染症「重点医療機関」申請(5床確保)
3月	新型コロナウイルス ワクチン接種事業開始
4月	みみはら在宅クリニック 診療開始 11階病棟を新型コロナウイルス感染症専用病棟化(16床確保) 11階病棟を簡易HCUの届出
7月	新型コロナウイルス感染症受入病床(30床確保)
10月	乳腺外科 標榜開始 大阪府 発熱患者「診療・検査医療機関」登録
11月	新型コロナウイルス感染症受入病床(20床確保へ減床)
2022年 2月	新型コロナウイルス感染症受入病床(29床確保)
4月	大阪メディカルラボトリーの検査機能を総合病院へ移管 委員会再編を実施 新型コロナウイルス感染症受入病床(16床確保へ減床)
5月	CWHC(チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター)を 周産期ファミリーケアセンターへ改組
6月	卒後臨床研修評価機構(JCEP) 第三者評価 認定更新 みみはら公式You Tube チャンネル開設
7月	レジリエンス認証更新
12月	新型コロナウイルス感染症受入病床(20床確保)
2023年 2月	新型コロナウイルス感染症受入病床(16床確保へ減床)

病 院 の 現 況

1. 病院の概要

病 院 名	社会医療法人同仁会 耳原総合病院
理 事 長	田端 志郎
病 院 長	河原林正敏
所 在 地	〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
診 療 科 目	内科、救急科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、産婦人科、精神科、小児精神科、神経内科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、緩和ケア科、消化器外科、総合診療科、皮膚科、乳腺外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科(休診中)
病 院 開 設	1953年
病 床 数	386床

【主たる指定医療機関】

- 地域医療支援病院
- 大阪府がん診療拠点病院
- 基幹型臨床研修指定病院
- HPH(健康増進活動拠点病院)
- 病院医療機能評価機構認定(3rd G: Ver.2.0)
- 保険医療機関
- 労災指定医療機関
- 母体保護指定医療機関
- 生活保護指定医療機関
- 更生医療担当医療機関
- 被爆者検診委託医療機関
- 原爆医療法指定医療機関
- 特定疾患(難病)治療研究委託機関
- 小児慢性特定疾患治療研究委託機関
- 母子保健法養育医療指定医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 身体障害者福祉法指定機関
- 指定自立支援医療機関(更生・育成・精神通院)
- 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種実施医療機関
- 乳児健康診査取扱医療機関
- 公害医療機関
- DPC/PDPS算定機関
- 児童福祉法指定の第1種助産施設
- 卒後臨床研修評価機構認定病院

- 大阪府難病医療協力病院
- 発熱患者「診療・検査医療機関」(2021.10.11～)

【主たる実施医療機関】

- 厚生労働省医薬品副作用モニター病院
- 特定健診実施医療機関
- 堺市・高石市国保人間ドック実施医療機関
- 堺市子宮がん健診・乳がん健診・大腸がん健診実施医療機関
- 循環器心発作受入医療機関
- 二次救急病院輪番制協力病院

【救急医療】

- 大阪府二次救急告示医療機関(内科・小児科・婦人科)
- 夜間初期小児救急医療支援事業

【学会認定】

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設拠点教育施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院

- 日本病理学会研修認定施設 B
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本腎臓学会認定教育施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本産科婦人科学会専門研修連携施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設
- 日本人間ドック学会/日本病院会 人間ドック健診施設機能評価認定施設
- 日本口腔外科学会准研修施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定施設
- 日本女性医学会専門医制度認定研修施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本緩和医療薬学会 緩和医療専門薬剤師研修施設
- 日本緩和医療薬学会 地域緩和ケアネットワーク研修施設
- 日本脳卒中学会研修教育施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 認定基幹施設
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- 日本がん治療認定医機構 認定研修施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施認定施設
- マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設画像認定施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
- 日本胃癌学会認定施設 B
- 日本高血圧学会認定高血圧研修施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設

- 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
- 日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実施修練施設
- 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- 母体保護法指定医師研修機関

【施設基準等】

[病棟看護体制]

- 一般病棟入院基本料(7対1)認可
- 緩和ケア病棟入院基本料認可
- 重症者特別療養環境(35床)認可

[病院給食入院]

- 入院時食事療法(I)認可

[衛生管理]

- 院内感染防止対策認可施設

[施設認定]

- 検体検査管理認定施設、体外衝撃波(腎・尿管結石破碎術認可施設、胆石破碎術認可施設)、経皮的冠動脈血栓除去術認定、経皮的冠動脈形成術認定、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)認定、経皮的冠動脈ステント留置術認定、ペースメーカー移植術認定

【主な届出】

- 情報通信機器を用いた診療に係る基準
- オンライン診療料
- 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準
- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算2
- 歯科診療特別対応連携加算
- 一般病棟入院基本料(7対1)
- 総合入院体制加算2
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1
- 急性期看護補助体制加算
- 夜間急性期看護補助体制加算(100対1)/夜間看護体制加算
- 看護職員夜間16対1配置加算1

- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 緩和ケア診療加算
- 精神科リエゾンチーム加算
- がん拠点病院加算
- 栄養サポートチーム加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- 医療安全対策加算 1 / 医療安全対策地域連携加算 1
- 感染防止対策加算 1 ※指導強化加算
- 患者サポート体制充実加算
- 重症患者初期支援充実加算
- 報告書管理体制加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 後発医薬品使用体制加算 2
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 2
- データ提出加算 2
- 入退院支援加算
- 入退院支援加算の注 8 に掲げる総合機能評価加算
- 認知症ケア加算 1
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算
- 地域医療体制確保加算
- 特定集中治療室管理料 1
- 特定集中治療室管理料の注 5 に掲げる早期栄養介入管理加算
- ハイケアユニット入院医療管理料 1
- ハイケアユニット入院医療管理料 2
- 新生児特定集中治療室管理料 2
- 小児入院医療管理料 4
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 / 体制強化加算 1
- 緩和ケア病棟入院料 1
- 入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）
- 歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- 短期滞在手術等基本料 1
- 看護職員処遇改善評価料 63
- 糖尿病合併症管理料
- 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する施設基準
- 外来栄養食事指導料の注 3 に規定する基準
- 心臓ペースメーカー指導管理料の注 3 に掲げる遠隔モニタリング加算
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料Ⅰ
- がん患者指導管理料ロ
- がん患者指導管理料ハ
- がん患者指導管理料ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 乳腺炎重症化予防・ケア指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 地域連携夜間・休日診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算
- 開放型病院共同指導料
- がん治療連携計画策定料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- ハイリスク妊産婦連携指導料 1
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
- 在宅療養後方支援病院
- 遺伝学的検査
- BRCA 1 / 2 遺伝子検査
- HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 検体検査管理加算（Ⅰ）
- 検体検査管理加算（Ⅳ）
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 植込型心電図検査
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ヘッドアップティルト試験
- 人工膀胱検査、人工膀胱療法
- 小児食物アレルギー負荷検査
- 前立腺針生検法（MRI 撮影及び超音波検査融合映像によるもの）
- 画像診断管理加算 1
- CT 撮影及び MRI 撮影
- 冠動脈 CT 撮影加算
- 心臓 MRI 撮影加算

- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 連携充実加算
- 無菌製剤処理科
- 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の時間外加算 1
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の深夜加算 1
- 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対する LDL アフェレシス療法
- 口腔粘膜処置
- レーザー機器加算
- 人工腎臓
- 導入期加算 2 ・腎代替療法実績加算
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)
- 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検(併用)
- 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
- 両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
- 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
- 植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
- 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
- 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
- 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
- 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- 経皮的下肢動脈形成術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- 精巣内精子採取術
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6 (歯科点数表第 2 章第 9 部手術の通則 4 を含む。)に掲げる手術
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の休日加算 1
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の時間外加算 1
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の深夜加算 1
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
- 周術期栄養管理実施加算
- 輸血管理料Ⅰ
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料(Ⅰ)
- 麻酔管理料(Ⅱ)
- 周術期薬剤管理加算
- 保険医療機関間の連携による病理診断
- 病理診断管理加算 1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 口腔病理診断管理加算 1

同仁会のなりたち

私たちの理念「一視同仁」

1950年2月、耳原町(現協和町)に私たちの前身である耳原実費診療所は生まれました。当時は戦後の荒廃した生活の下、同和地域がゆえの差別と貧困にくるしめられ、トラコーマや結核が蔓延し、助かるべき命も失うという悲惨な状況でした。

このような中、地域の人たちと民主的な医師たちが「無差別・平等の医療」をもとめて、3万円(一口100円)の資金を募るなど、自らの診療所開設に立ち上がりました。開設時は借家の手狭な診療所でしたが、堺市で最初の患者の立場に立った民主診療所(現民医連)が誕生しました。

3年後の1953年11月には、いち早く病院化(54床)し、次いで57年には一挙に211床に増床、これを期に「みんなの病院」への思いを込めて58年11月に医療法人(財団)同仁会が設立されました。

創立後半世紀がすぎました。堺市を中心とする大阪民医連南ブロックには、5法人(1病院、8診療所、1介護老人保健施設、1歯科、8訪問看護ステーションなど)が地域に根ざして活動し、民医連連動が大きく広がっています。

「一視同仁」とは「だれかれなく、わけへだてなく平等に愛する」という意味です。

差別や貧困とたたかい、すべての人の人権と平和を願う先人の思いが、法人名の「同仁会」にこめられています。

今また、「病気であっても、医療が受けられない」という人権軽視の医療制度改悪が推し進められ、平和がおびやかされる時代へと逆行しつつあります。このような時代だからこそ「一視同仁」の原点を大切にし、「いのちの平等」をしっかりとふまえ、「無差別・平等の医療」をまもり続けます。

民医連(みんないれん)とは

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として1953年に結成されました。

以後、半世紀以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。医療制度を改善する運動もすすみ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1,700カ所を超え、約8万人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約371万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

民 医 連 綱 領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一．人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一．地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一．学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一．科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一．国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一．人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日

耳原総合病院の基本方針

患者や地域と共同し、チームで24時間365日安全・安心・信頼の医療を提供する
健康増進活動の拠点として、地域全体の健康状態改善に取り組む
職員への教育・研修機能の充実を図り、地域医療を担う後継者を養成する
持続的なPDCAサイクルの維持により、医療サービス向上に努める

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

●安全、安心、信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

●無差別、平等の医療

私たちは患者様の人権を尊重した医療をすすめます

●患者負担の少ないを療

私たちは室料差額をいたしません

医療費負担を増やす政策に反対します

●地域とともに歩む専門職の育成

科学性・社会性・倫理性をふまえた鋭い人権感覚をもつ専門職を育成します

基幹型臨床研修病院 耳原総合病院

< 基本理念 >

地域、社会から求められる医師として成長するため、また、医師としての生きがいを持って働き続けるために、

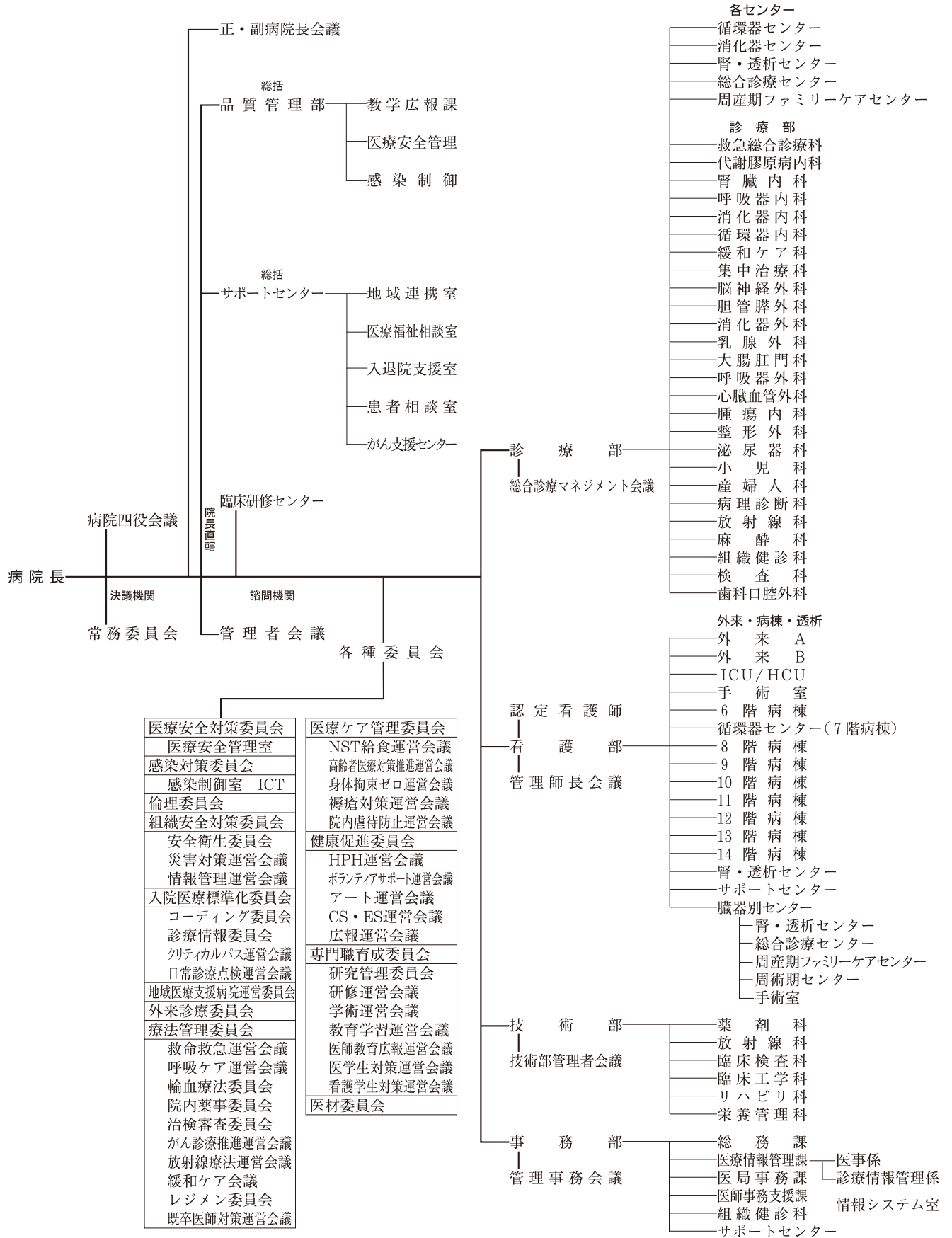
1. 疾患を幅広くとらえる
2. 病院、診療所とともに地域を研修の場とし介護、福祉も視野に入れる
3. 医師としてのリーダーシップ、他職種とのコミュニケーション、医師としての社会的役割を身につける

< 五つの基本姿勢 >

1. 研修医が健康的に研修できる環境を保障する
2. 研修医をひとりにならないよう、十分なバックアップ体制を作る
3. 個々の研修医の到達に合わせ、ゆるやかに無理なく研修を進める
4. 指導医だけでなく、病院全体で研修医を育てる
5. 地域で暮らす生活者として患者様をとらえ、問題解決にあたる

耳原総合病院組織図

2023年3月1日現在



職員配置表

2023. 3. 31現在

職 種	常 勤	非 常 勤		換 算
	人 数	人 数	換 算	合 計
医師	102	86	2.4	104.4
歯科医師	2	1	0.1	2.1
薬剤師	20	3	3	23
臨床工学技士	28	0	0	28
検査技師	25	9	4	29
放射線技師	27	1	1	28
理学療法士	28	1	1	29
作業療法士	16	0	0	16
言語聴覚士	7	0	0	7
心理判定士	0	1	0	0
歯科衛生士	3	1	0	3
管理栄養士	9	0	0	9
栄養士	1	0	0	1
調理師	15	3	3	18
介護福祉士	5	0	0	5
施設技師	1	0	0	1
その他技師	0	1	1	1
視能訓練士	1	0	0	1
ケースワーカー	8	0	0	8
事務	48	71	65	113
看護師	379	14	6	385
助産師	25	2	0	25
保健師	1	0	0	1
准看護師	3	4	2	5
リハビリ技師助手	0	1	1	1
技術助手	0	3	0	0
介護職員	1	0	0	1
助手	0	7	6	6
看護助手	2	51	32	34
調理員	0	12	6	6
合 計	757	272	133.5	890.5

職員用デジタルサイネージでふりかえる2022年度

【4月】

<p>2022年度 耳原総合病院年度方針</p> <p>河原村院長による年度方針説明をSafety1stにアップしました。達成目標までに、来年度方針を反映して部署や個人目標シートを完成させてください。</p> <p>2022年度 耳原総合病院方針 (第1)</p>	<p>2022年度 新入看護職員です、よろしくお付き合いませう!</p> <p>4月5日から、看護部がエンターションしていきませう!</p> <p>看護部課長</p>	<p>健診科 インスタやってます</p> <p>Instagram: mimihara_kensin</p> <p>フォローをお願いします</p> <p>Facebookでも同じ内容を投稿しています</p>
---	--	---

【5月】

<p>Mラーニングシステム 2021年度 表彰式を開催!</p> <p>表彰式の様子</p>	<p>第6回耳鼻咽喉科病院 耳鼻科医カカカンファレンス (産科人科) 開催</p> <p>2022.5.19(木) 18:20~(18:30) 4200Hで開催</p>	<p>院内研修の様子</p> <p>研修会に参加する職員</p>
---	---	----------------------------------

【6月】

<p>THE BIG ISSUE</p> <p>6月15日発売版に、同仁会の広告が掲載されます。ぜひお買い求めください。</p>	<p>遠征センター 全国配布の機関紙に掲載されました</p> <p>FROM B.P ROOM</p> <p>B.P up-to-date</p>	<p>無料低額診療事業のお知らせ</p> <p>駅看板が設置されました</p> <p>南海 堺駅、南海 堺東駅、南海 三宮+丘駅、南海 中百舌鳥駅</p>
---	--	--

【7月】

<p>CVIT 2022</p> <p>7月16日(金) 15:00~17:00</p> <p>会場: 三宮駅前</p>	<p>6月ヒヤリハット</p> <p>315件 史上最多 報告がありました!!</p> <p>安全文化の醸成に努めます</p>	<p>Shall we Music?</p> <p>秋の演奏会 9月8日 木曜 11:30~13:30</p> <p>会場: プラザの音楽</p>
---	--	--

【8月】

<p>夏の高快生看護体験</p> <p>ご協力ありがとうございました!</p>	<p>LGBTQオンライン講座</p> <p>8月19日(金) 15:00~17:00</p> <p>講師: 吉田絵理子 医師</p>	<p>7/21 堺市がん心理ケアセンターLGBTQ情報科とケア分科管理棟 事例検討会「ペルラン」報告書発表(1)に出席(15名参加)</p>
--	--	--

【9月】

<p>DCベッド 新しいものに更新します!!</p> <p>DCベッドの更新が完了しました。</p>	<p>14階イベント</p> <p>9月8日に14階演習で夜間実習を提供しました。</p>	<p>医療関係者による「トラブルを未然に防ぐカルズの書き方」</p> <p>第3巻 「看護士が医師の補助(特に手術時)」</p> <p>日程: 9/20(火)、21(水)、26(月)、30(金)</p> <p>時間: 12:30~13:30</p> <p>場所: 会議室1</p>
---	--	---

【10月】

<p>2022年10月15日第24回地域連携推進をすすめる会</p> <p>「病院活動報告—コロナ禍で変えてきた課題と実証」開催</p> <p>「高野の2019—19診療—集大成の経験を学ぼう」</p> <p>外部23名職員20名 参加しました。 ご参加ありがとうございました。</p>	<p>新人職員向け研修を実施しました</p> <p>10月25日開催サポートセンター接遇研修 ～身だしなみチェックと職場用語～</p> <p>新人職員向け研修「サポートセンター」は、院内のサポートセンターとして、患者様、ご家族、ご来客のサポートを行います。研修を通じて、サポートセンターの役割や仕事内容、接遇の重要性、身だしなみチェックの重要性、職場用語の重要性を学びました。</p>	<p>girasol発表会を開催しました。</p> <p>「girasol発表会」を開催しました。発表会では、各部署の職員が、日々の業務で取り組んでいる課題や、その解決策について発表しました。発表内容は、患者様の安全、業務効率化、働き方改革など、多岐にわたります。</p>
--	---	--

【11月】

<p>11月18日 参議院 厚生労働委員会に河野林病院院長登壇</p> <p>COVID-19と闘う医療現場の代表として参考人招致</p> <p>「参議院 厚生労働委員会」に河野林病院院長が登壇し、COVID-19と闘う医療現場の代表として参考人招致されました。院長は、院内での感染対策や、地域連携の重要性について発言しました。</p>	<p>トレーニングシステム 2022年度 上期</p> <p>表彰式を開催！</p> <p>「トレーニングシステム」2022年度上期の表彰式を開催しました。表彰されたのは、業務効率化や働き方改革に貢献した部署です。</p>	<p>みんな描こう タバコをなく健康を 作品公募展</p> <p>お気に入りの作品に投票！ 職員の皆さん ぜひ参加してね！</p> <p>外業エリア 平塚駅前パルク 2022.12.9(金)まで オーディエンス員 投票開催中</p>
--	---	---

【12月】

<p>「12/24医療機関における接遇をみんなで考えよう」企画を開催！</p> <p>「12/24医療機関における接遇をみんなで考えよう」企画を開催しました。参加者は、患者様への接遇改善について話し合いました。</p>	<p>7階病棟 メディカルカンファレンス</p> <p>12月28日【水】18:30～</p> <p>古くて新しいMICS (低侵襲心臓手術)</p> <p>心臓外科科長 本間 隆 先生</p> <p>1-2号フロア 183708 1829 1823-1 323102</p>	<p>薬事委員会 報告12月</p> <p>「薬事委員会」12月の報告です。報告内容は、院内での薬物管理や、患者様の安全確保についてです。</p>
---	--	---

【1月】

<p>その機器たち もう使い終わっていませんか？</p> <p>次に必要な人が待っています。</p> <p>使用後はすぐに返却を。 ME.com88 橋田 野田</p>	<p>がん診療推進連立会講よりお知らせ</p> <p>「ワンストップ治療を目指す放射線治療」</p> <p>がん治療の5本柱のひとつ「放射線治療」の重要性、分科が連携し、放射線治療について関心をもってもらうことを目的に学習会を開催します。</p> <p>講師：山口 拓也 先生 (外科)</p> <p>日時：1月25日(水) 12:45～13:15 会場：5F・会議室1 or Zoom配信</p>	<p>民医連医療</p> <p>「民医連医療」に関する情報です。民医連医療は、地域医療の発展と患者様の安全確保を目的としています。</p>
--	---	---

【2月】

<p>CVIT</p> <p>「CVIT」に関する情報です。CVITは、院内での業務効率化や働き方改革を推進するための取り組みです。</p>	<p>サポートセンター職員会議</p> <p>2/22サポートセンター研修 開催★1年日本事務局員等計5名が参加！</p> <p>「サポートセンター」の職員会議を開催しました。参加者は、日々の業務や研修について話し合いました。</p>	<p>2/21「地域がん診療連携強化協議会」</p> <p>「地域がん診療連携強化協議会」に参加しました。協議会では、地域医療の連携強化について話し合いました。</p>
--	---	--

【3月】

<p>国試合格おめでとうございます</p> <p>2023年度入職研修医</p> <p>「国試合格おめでとうございます」のメッセージです。2023年度入職研修医の皆さん、おめでとうございます。</p>	<p>救急救命士に対する教育体制（病院実習）</p> <p>5月より開始します</p> <p>「救急救命士に対する教育体制（病院実習）」5月より開始します。対象者は、救急救命士です。</p>	<p>火を幸ねにする消滅造り</p> <p>「火を幸ねにする消滅造り」に関する情報です。消滅造りは、火災の予防と被害の軽減を目的としています。</p> <p>2023年3月10日(金) 18:00～19:00</p> <p>開催方法：リモート形式(ZOOM) + 会場 ※医師のみ会場参加となります 対象者：全職員 ※日本専門医機構 共通講習申請中</p>
--	---	--